

回 覧

令和8年7月1日

駒形地区の皆様

塩川総合支所 住民課

野生動物を寄せ付けない対策にご協力ください

現在、駒形地区周辺でイノシシやクマなどの野生動物の目撃や痕跡が多くなって
おります。

生ごみや野菜などの収穫残さ等を野生動物が食べてしまった場合、味と場所を覚え、そのままエサ場と認識されてしまえば頻繁に出没するようになります。そうなれば、縄張りのような扱いとなり追い払うことも容易ではなくなります。

そのような事態とならないために「野生動物を寄せ付けない対策」に、ご協力ください。

～野生動物を寄せ付けないためには～

①エサ場をなくす。

野生鳥獣を呼び寄せてしまう原因(野菜くず・生ゴミの屋外放置、未収穫の果樹)を改善し、農地や集落をエサ場だと認識させない。

②隠れ場所をなくす。

農地や集落近くの藪は、野生鳥獣の格好の隠れ場所となり被害を助長させてしまいます。藪を刈り、見通しを確保しましょう。

③電気柵で囲って守る。

電気柵で作付け圃場を囲うことによって、非常に高い被害防止効果を発揮します。

小さな対策の積み重ねが
将来の被害の増減に大きく影響していきます。

